

対馬保健所管内における感染症情報

令和7年 第27週（6月30日～7月6日）

1. 定点把握対象疾患

発生状況	疾患名	定点当たり（人）		報告数	内訳			発生年代等
		前週 (26週)	今週 (27週)		対馬 病院	上対馬 病院	豊玉 診療所	
	(季節性)インフルエンザ	-	0.00	1	1	0	0	50歳代：1名
	新型コロナウイルス感染症	0.33	0.33	1	1	0	0	60歳代：1名
	RSウイルス感染症	-	-	0	0	0		
↓	咽頭結膜熱	1.50	0.50	1	1	0		3歳：1名
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	-	1.50	3	1	2		6歳：1名 10歳代：1名 20歳代：1名
	感染性胃腸炎	-	-	0	0	0		
警報	水痘	6.50	1.50	3	3	0		1歳：1名 2歳：2名
	手足口病	-	-	0	0	0		
	伝染性紅斑（リンゴ病）	-	-	0	0	0		
	突発性発しん	-	-	0	0	0		
警報	ヘルパンギーナ	5.00	9.00	18	18	0		1歳：4名 2歳：5名 3歳：2名 4歳：2名 5歳：3名 8歳：1名 10歳代：1名
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	-	-	0	0	0		
	細菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	無菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	*基幹定点			
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	-	*基幹定点			
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	*基幹定点			
↓	急性呼吸器感染症（ARI）	34	31.67	95	ARI 定点			

2. 全数把握対象疾患

発生無し

3. トピックス、季節情報

◆ヘルパンギーナの報告数が警報レベルです！

・対馬市では、殆どが未就学児の報告で、第27週は、定点当たりの報告数が県内で最も多い状況です。

ヘルパンギーナとは？

- ・乳幼児を中心に、夏に流行する急性ウイルス咽頭炎です。
- ・感染経路は、飛沫感染と患者の便に汚染されたオムツや下着、器物からの接触感染（糞口感染）になります。
- ・感染してから2～4日後に突然の発熱に続いて、喉の痛みと喉の奥に水疱が現れます。発熱は、1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛等の症状がありますが、一般的に経過は良好で、2～3日以内に回復します。
- ・合併症として、熱性けいれん、脱水症、小児では、まれに髄膜炎や心筋炎等の注意が必要です。
- ・発症後1～4週頃は、便からウイルスが排せつされるため、回復後も感染源となります。乳幼児のおむつ交換後は、排泄物の処理と手洗いをしっかり行うようにしましょう。

◆長崎県内に日本脳炎注意報が発表されています！

人はこのウイルスをもっている蚊に刺されることによって感染します。夏本番を迎え、蚊の活動が活発になりますので、注意が必要です。予防には、日本脳炎ワクチンの接種が最も有効ですが、虫除けスプレー等の利用や長袖などを着用する等、蚊（主にコガタアカイエカ）に刺されないような対策を取りましょう。